

## 進路指導の羅針盤

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。そして在校生の皆さんは進級おめでとうございます。2010年に発行が始まった進路情報新聞「COMPASS」は、この4月で175号となり、17年目を迎えました。引き続きよろしくお願いいたします。

なお、本校ホームページから、PDF版が閲覧でき、保護者の皆様には安心でんしゅばとでもお知らせします。

今年度から編集スタッフの入れ替えもあり、さらに充実した進路情報を皆さんにお伝えしていきます。COMPASS編集部の新スタッフは次の通りです。

編集長:進路指導主任  
編集部員:進路指導副主任(高3担任)  
高3担当3名、高2担当2名、高1担任2名

以上の9名です。よろしくお願いいたします。

大学入試というのは、情報なしには戦えません。しかし、世の中には情報が溢れかえっています。この豊山高校進路指導部発行の進路情報新聞では、豊山生活の1年間でどのような進路行事が行われるか、大学入試のシステム(仕組み)がどのようになっているか、日大の付属推薦がどのようなスケジュールで行われるかなど、多岐にわたる情報が記載されています。この新聞は、皆さんの大学進学への羅針盤となっていくように、毎月興味の持てる内容をお送りします。

\*\*\*\*\*

## 卒業生の進路状況

日本大学				他大学			
	総合型	推薦	一般		総合型	推薦	一般
法学部	一部	49	6	東北大学			1
	二部	2		九州工業大学		1	
文理学部		31		早稲田大学			5
経済学部		46	2	慶應義塾大学	1		5
商学部		24		上智大学	1	5	2
芸術学部		9	1	東京理科大学		12	2
国際関係学部				明治大学		2	10
危機管理学部		7		青山学院大学			5
スポーツ科学部		2		立教大学		1	4
理工学部		102	1	中央大学	2	1	4
生産工学部		22		法政大学		3	14
工学部				学習院大学		1	1
医学部		2		東洋大学		1	4
歯学部				駒澤大学			6
松戸歯学部		3		専修大学		1	2
生物資源科学部		13		関西学院大学	2		
薬学部		3		京都産業大学			1
短期大学部	三島			芝浦工業大学		4	
	船橋			東京都市大学		5	1
医学部付属看護専門				東京電機大学		1	
通信教育部				その他の大学	13	27	53
<b>小計</b>	<b>0</b>	<b>315</b>	<b>10</b>	<b>小計</b>	<b>19</b>	<b>65</b>	<b>120</b>
<b>進学者数</b>		<b>325</b>		<b>合格者数</b>		<b>204</b>	

※日本大学は進学者数、他大学は合格者数

令和7年度高3の進路状況が確定しました。日本大学への進路状況としては例年と大きく変わりませんが、現役生の69.6%が進学していることから、依然として高い水準で進学できていることがわかります。他大学の合格者は、国立大学2名、早慶上理とGMARCHや関関同立においては83名の合格者数となりました。また、他大学全体では、昨年度の159名に対して204名という結果でした。

受験というものはそれまでの取り組みが結果として現われると言われますが、それは誰にも見えないものです。その見えない部分を先輩方は「努力」という形で地道に取り組んだことがわかります。右欄の先輩方の合格体験記をぜひ参考にしてください。

## ～合格体験記～

新高3のみなさん、進路決定の1年間が始まりました。この合格体験記では、この春に豊山を卒業し、4月から大学生として活躍する先輩方からのお話を紹介します。文系理系それぞれの特進コースで、大学受験を突破した先輩から貴重な心構えをいただくことができました。ぜひこれらを参考にして、自身の受験勉強に役立ててください。

### ◎文系特進生徒(早稲田大学 文化構想学部)◎

受験勉強をする中でたくさんの不安や恐怖、緊張に直面すると思う。私も模試で良い成績が出なかったり、時々、志望校に落ちたら考えた時にはネガティブな気持ちになったりした。また、早稲田を受験した時には周りの受験生が皆自分より賢く見えた。しかし、私は「自分が誰よりもやった」という気持ちで受けることができた。それは試験本番まで何度も不安に吞まれたが自分に打ち勝って勉強を続けてきたからだ。さらに学校の先生、塾の先生や家族の支えがあったからこそ試験本番まで走り切ることができた。

君たちは中学受験または高校受験を乗り越えて、豊山高校に入学したと思う。次は大学受験だ。大学受験はこれまでの受験と違い自分の将来が決まると言っても過言ではない重大な試験である。勿論、大学受験をしないという選択肢もあるが、受験すると決めた君たちは大きな一歩を踏み出そうとしている。それは君たちだけでなく、全国の高校3年生、浪人生がしようとしていることだ。その中で自身の第一志望校に合格できるのはほんの一握りである。それゆえ、第一志望校に受かった時にはかつてないほどの喜びに満ちていると思う。それは誰にも譲ることができないし、誰のものでなく君だけが得ることができるものだ。だからこそ自分に負けないほしい。どれだけ辛くても、どれだけ苦しくても、受かった後の世界はとて明るく見える。その景色を君たちに味わってほしい。心の底から応援している(豊山の合格実績を残してくれ)。

### ◎理系特進生徒(東北大学 理学部)◎

私が合格した主な大学は、東北大学理学部物理学科と慶應義塾大学理工学部です。私が受験の際に大切にしていたことや感じたことを書きます。皆様の参考に少しでもなれば幸いです。

受験勉強では、基礎を徹底的に固めることを最優先にしました。特に数学と物理は、典型問題を繰り返し解くことで本質的な理解を目指しました。模試の結果に一喜一憂することもありましたが、復習を重視し、弱点を一つずつ潰していくことで安定した実力を身につけることができました。共通テストでは科目数も多かったため、日々の受験勉強のなかで、自分の到達度を分析し、優先順位をつけて学習に取り組んでいました。上位校を目指す周囲の友人と、切磋琢磨できたことも乗り越えられた大きな要因でした。

また、過去問演習では時間配分と記述力を意識しました。東北大学の試験は記述式なので、ただ解けるだけでなく、論理的に答案を構成する力が求められます。そのため、採点基準を意識しながら丁寧に記述する練習を重ねました。一方で慶應は答えだけの記述なので、典型的な問題を多く演習して処理速度を上げることを意識しました。

受験を通して大切だと感じたのは、継続と自己分析です。自分の弱点と向き合い続けた経験は、今後の学びにも必ず活きて感じています。





# 基礎学力到達度テスト



# 高1 進路適性検査

日本大学の全付属校(約10,000人/学年)を対象に実施される基礎学力到達度テストは、日本大学学校推薦型選抜(主に、基礎学力選抜)に直接関わる重要なものです。

高1・2は4月15日(水)、高3は4月16日(木)に英語・国語・数学の3教科で実施されます。高1にとっては、現在の付属校内での立ち位置を知ることができる機会になります。高2は、今回の成績から推薦の成績に2割分算入されます。高3は、高2と同様に今回の成績は全体の2割となりますが、2年次の成績と合わせて計4割となります。試験範囲を掲載しますので、準備を怠ることなく試験に臨みましょう。

高1	国語	中学全範囲
	数学	中学全範囲
	外国語(英語)	中学全範囲 (リスニングテストを含む)
高2	国語	現代の国語, 言語文化 ※近代以降の文章(論理的な文章, 文学的な文章)及び古典(古文, 漢文)とする。
	数学	数学Ⅰの全範囲 数学A(図形の性質, 場合の数と確率)
	外国語(英語)	英語コミュニケーションⅠ (リスニングテストを含む)
高3	国語	現代の国語, 言語文化 ※近代以降の文章(論理的な文章, 文学的な文章)及び古典(古文, 漢文)とする。
	数学	数学Ⅰの全範囲 数学A(図形の性質, 場合の数と確率) 数学Ⅱの全範囲は必須とし, 数学B(数列, 統計的な推測), 数学C(ベクトル)の3単元から2単元を選択。 ※数学Ⅰ, 数学Aの単独出題はしない。
	外国語(英語)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ (リスニングテストを含む)

\*\*\*\*\*

## 高2 進路ガイダンス



高2の皆さんは、今年からいよいよ受験に向けて本格的に動き出す時期になります。進路指導部の役割は、大学進学への支援を行い、3年間の進路行事を通して現役での大学進学へ導くことです。

高2の1年間は、次年度の進路実現に向けた大切な準備期間です。自分の将来を見据えて個性を伸ばし、受験や進路に関する情報を活用しながら、主体的に進路を決めてください。

特に進学を目指す皆さんに大事にしてほしいのは「準備すること」です。この1年の過ごし方が、今後の進路に大きく影響します。何のために勉強し、なぜ大学を目指すのかをはっきりしていないと、途中で息切れしたり、進路選択を誤ったりしかねません。だからこそ、早い段階で自分のゴールを明確にすることが重要になります。

豊山で学んだ先輩は、どのような大学に進学しているのか。その先輩方は、どうやって志望校合格を勝ち取ったのか。第1志望に合格した多くの先輩が、その理由として「授業を大切にしたい」と答えています。授業への姿勢が、進路実現の土台になります。本校では、皆さんの進路実現に向けたさまざまな進路行事を準備しています。これらを積極的に活用し、第1志望合格へ向けて着実に動いてほしいと思います。

本校の生徒の進路は、大きく二つに分かれます。日本大学への進学と、他大学への進学です。大学受験には一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜があり、自分に合った方法を選び、第1志望合格を目指します。今後の進路ガイダンスでは、進路指導主任から、文理選択を終えた皆さんに入試に関する説明があります。その内容を参考にし、自分の行動に繋げていってください。



高1の皆さん、改めてご入学おめでとうございます。中学校3年間の教育課程を終えて、やりきったという達成感と新たな環境に適應できるかという不安な気持ちが入り混じっている状態ではないでしょうか。さて、進路と聞いてどんなことをイメージしますか? 高校では、自分の進路は自分で考え決めてもらいます。今年は皆さんの夢に向けての進路を実現するため、スタートとなる貴重な1年間となります。高校卒業後の進路選択は、将来の職業や生き方を左右する重要な決断です。毎年、「どんな進路があるのか」「いつまでに決めればいいのか」「どうやって選べばいいのか」など、多くの高校生が悩みを抱えています。進路は誰も迷い、そして悩むものです。

進路を見つけるための主なポイントは、以下の3つです。

- ① 自分の好きなこと・興味のあることから考える
- ② 得意なこと・適性から考える
- ③ 理想とする暮らし・ライフスタイルから考える



そこで、4月7日(火)4時間目に職業・進路適性診断テストを実施します。これは、260問の質問に直感的に回答することで、6つに分類された職業の持つ適性要素の中で、自身の適性要素がどの分類にあたるのか、<興味・関心のある職業例に含まれる適性要素>と<志向・行動に含まれる適性要素>が一致しているか、ギャップがあるかということ客観的に知ることができます。

さらに、<興味・関心><志向・行動><分析からの総合診断>の3つの結果から、自身の職業適性に含まれる職業要素を踏まえて様々な職業を調べることで、より興味・関心・職業観の幅を広げることが可能です。

しかし、進路適性検査の結果が全てということはありません。適性ではなかったからといって、その夢や目標を諦めることは絶対にしないでください。今後の進路を自分自身で真剣に考えるきっかけにしてほしいと思います。振り返りは、講師の先生の講演の振り返りを今後の課題として課す予定ですので、時間を作ってしっかりと自分自身と向き合ってください。

\*\*\*\*\*

### 4月の進路行事

- ・ 4月7日(火) 進路適性検査 (高1)
- ・ 4月14日(火) 基礎学力到達度テスト準備 (短縮40分授業) (中高)
- ・ 4月15日(水) 基礎学力到達度テスト (高1・2) (高3 家庭学習)
- ・ 4月16日(木) 基礎学力到達度テスト (高3) (高1・2 家庭学習)
- ・ 4月22日(水) 進路ガイダンス (高2)



4月は進路指導主任から各学年の生徒と保護者へ講演を行う予定です。内容は学年によって異なりますが、高1から高3の受験期にかけて何を行うべきか、何に注意をしなければいけないか等になります。受験の基礎から話していきますので、生徒のみなさんは筆記用具を用意して、しっかりと聞くようにしましょう。

4月15日(水)と16日(木)に実施される基礎学力到達度テストは、その後の付属推薦には受験必須の試験です。特に高1は未受験の場合、付属推薦の出願資格に影響しますので、必ず受験をしてください。皆さんの将来を大きく左右するものになり、付属高校のメリットを活かす最も重要なものでもあります。高2と高3は直前講習もありますので、その中でしっかりと対策ができるようにしましょう。

特進クラスの生徒は、進学・体育クラスとは異なり、河合塾の模試を年間を通して受験(必須)することになります。直近では5月3日(日)に高3対象の全統共通テスト模試があります。GW中ではありますが、受験学年として最初の大きな模試で、全国規模の数少ない機会です。7か月後の自分が受験生の中でどの位置にいるかを知るチャンスでもあります。必ず受験をするようにしてください。

次回5月号は、4月末に発行予定です